

東京都立立川緑高等学校 第一回入学式 校長式辞

本日、東京都立立川緑高等学校に、入学された171名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

ご来賓の東京都議会議員伊藤大輔様、立川市教育委員会教育長飯田芳男様をはじめ、多数の来賓の皆様にご列席いただき、第一回入学式が挙行できることを心からの喜びとしています。

新入生の皆さん、今日、入学式によく来てくれました。皆さんが高校生活の第一歩を踏み出したことは、本当に素晴らしいことで、教職員一同、とても歓迎しています。

皆さんは、立川緑高校のこれからを作っていく第一期生です。授業も学校行事も部活動も、上級生がいないため、分かりやすいモデルがありませんが、仲間と共に、話し合いをしつつ試行錯誤しながら、創り上げていくことができます。大変かもしれませんが、「自分たちの学校は自分たちでつくる」を合言葉に、楽しみながら取り組んでほしいと思います。そのような経験をたくさん積み重ねてほしいと思います。

こういった経験こそ、これからの社会のなかで本当に求められるものだと思います。それは、社会の変化は、今後も一層激しくなり、その社会の中で正解がない問題に、自分たちなりの答えを見出していくことで、自分たちの可能性が広がるからです。

ここで新入生の皆さんに二つお願いがあります。

一つは、皆さんで、本校の校歌をつくってください。そして、11月の開校記念式典では、途中経過で良いので、ぜひ披露してください。皆さんから見て、ステージ左側の白いボードには、そのための場所として準備しています。皆さんらしい校歌ができることを、私はとても楽しみにしています。

もう一つは、この新しい校舎を大切に使ってください。立川緑高校の構想段階から、設計・建築工事・様々な備品などは、皆さんのことを思いはせて、色々な人たちが、様々なアイディアを持ち寄り、ぎゅっと凝縮したものです。関わった人たちの思いを心のどこかにとどめておいてもらって、校舎を大切に、そして最大限に使ってください。

皆さんに二つのお願いをしましたが、何事も、「さあ、はじめよう」や「さあ、

やってみよう」の声かけで、仲間と共に自分らしい目標に向かってチャレンジをしてください。きっと何らかの答えが見つかるはずです。皆さんのチャレンジを大いに期待しています。

改めまして、保護者の皆様、お忙しい中、新入生の高校生活スタートの日に参加いただき、ありがとうございます。この日を迎えられるまでに、様々なご心配やご苦勞があったかと思います。おそらく今は、新入生の姿を見て、感慨深い思いをお持ちかと思います。

高校生の育成においては、保護者の皆様、地域の方々を始め、多くの方からのお力添えが欠かせません。
教職員一同、生徒と向き合い、生徒の成長のために尽力していきますので、御理解と御協力をお願いいたします。

さて、新入生の皆さん、「さあ、はじめよう」や「さあ、やってみよう」の声かけで、高校生活を存分に楽しんでください。

令和7年4月8日

東京都立立川緑高等学校 校長 石田和仁